

2018年版 保育所保育指針 「ねらい」と「内容」

作成 T.YONEHARA 2017.05.15 告示されたものを確認のうえ利用してください。

第1章 2 養護に関わるねらい及び内容

生命の保持

ねらい	内容
① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。	① 一人一人の子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応する。
② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。	② 家庭との連絡を密にし、嘱託医等との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。
③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。	③ 清潔で安全な環境を整え、適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的欲求を満たしていく。また、家庭と協力しながら、子どもの発達過程等に応じた適切な生活リズムがつくられていくようにする。
④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	④ 子どもの発達過程等に応じて、適度な運動と休息を取ることができるようになる。また、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなどについて、子どもが意欲的に生活できるように適切に援助する。

情緒の安定

ねらい	内容
① 一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。	① 一人一人の子どもの置かれている状態や発達過程などを的確に把握し、子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れ合いや言葉かけを行う。
② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。	② 一人一人の子どもの気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの継続的な信頼関係を築いていく。
③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。	③ 保育士等との信頼関係を基盤に、一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働きかける。
④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。	④ 一人一人の子どもの生活のリズム、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や休息が取れるようにする。

第2章 1 乳児保育に関わるねらい及び内容

ア健康やかに伸び伸びと育つ

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う。

ねらい	内容
① 身体感覚が育ち、快適な環境に心地よさを感じる。	① 保育士等の愛情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。
② 伸び伸びと体を動かし、はう、歩くなどの運動をしようとする。	② 一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かす。
③ 食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える。	③ 個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。
	④ 一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。
	⑤ おむつ交換や衣服の着脱などを通じて、清潔になることの心地よさを感じる。

イ身近な人と気持ちが通じ合う

受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う。

ねらい	内容
① 安心できる関係の下で、身近な人と共に過ごす喜びを感じる。	① 子どもからの働きかけを踏まえた、応答的な触れ合いや言葉かけによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。
② 体の動きや表情、発声等により、保育士等と気持ちを通わせようとする。	② 体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育士等とのやり取りを楽しむ。
③ 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。	③ 生活や遊びの中で、自分の身近な人の存在に気づき、親しみの気持ちを表す。
	④ 保育士等による語りかけや歌いかけ、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。
	⑤ 温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。

ウ身近なものに関わり感性が育つ

身近な環境に興味や好奇心をもって関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う。

ねらい	内容
① 身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ。	① 身近な生活用品、玩具や絵本などが用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心をもつ。
② 見る、触れる、探索するなど、身近な環境に自分から関わろうとする。	② 生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気づき、感覚の働きを豊かにする。
③ 身体の諸感覚による認識が豊かになり、表情や手足、体の動き等で表現する。	③ 保育士等と一緒に様々な色彩や形のものや絵本などを見る。
	④ 玩具や身の回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、ひっぱるなど、手や指を使って遊ぶ。
	⑤ 保育士等のあやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。

第2章 2 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容

ねらい	内容
① 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。	① 保育士等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活をする。
② 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。	② 食事や午睡、遊びと休息など、保育所における生活のリズムが形成される。
③ 健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でしてみようとする気持ちが育つ。	③ 走る、跳ぶ、登る、押す、ひっぱるなど全身を使う遊びを楽しむ。
	④ 様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。
	⑤ 身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。
	⑥ 保育士等の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。
	⑦ 便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。

第2章 3 3歳以上児の保育に関するねらい及び内容

ねらい	内容
① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	① 保育士等や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。	② いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。	③ 進んで戸外で遊ぶ。
	④ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
	⑤ 保育士等や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。
	⑥ 健康な生活のリズムを身に付ける。
	⑦ 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
	⑧ 保育所における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
	⑨ 自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。
	⑩ 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。

ねらい	内容
① 保育所での生活を楽しく、身近な人と関わる心地よさを感じる。	① 保育士等や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。
② 周囲の子ども等への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。	② 保育士等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。
③ 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	③ 身の回りに様々な人がいることに気づき、徐々に他の子どもと関わりをもつて遊ぶ。
	④ 保育士等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身につける。
	⑤ 保育所の生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。
	⑥ 生活や遊びの中で、年長児や保育士等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。

ねらい	内容
① 保育所生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。	① 保育士等や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
② 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。	② 自分で考え、自分で行動する。
③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	③ 自分でできることは自分でする。
	④ いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
	⑤ 友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。
	⑥ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
	⑦ 友達よさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
	⑧ 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
	⑨ よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。
	⑩ 友達との関わりを深め、思いやりをもつ。
	⑪ 友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。
	⑫ 共同の道具や用具を大切に、皆で使う。
	⑬ 高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。

ねらい	内容
① 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。	① 安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。
② 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。	② 玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。
③ 見る、聞く、触るなどの経験をを通して、感覚の働きを豊かにする。	③ 身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。
	④ 自分の物と人の物の区別や、場所的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。
	⑤ 身近な生き物に気づき、親しみをもつ。
	⑥ 近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。

ねらい	内容
① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。	① 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
② 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	② 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
③ 身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	③ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
	④ 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。
	⑤ 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気づき、いたわったり、大切にしたりする。
	⑥ 生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。
	⑦ 身近な物を大切に使う。
	⑧ 身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
	⑨ 日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。
	⑩ 日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。
	⑪ 生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。
	⑫ 保育所内外の行事において国旗に親しむ。

ねらい	内容
① 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。	① 保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。
② 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。	② 生活に必要な簡単な言葉に気づき、聞き分ける。
③ 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。	③ 親しみをもって日常の挨拶に応じる。
	④ 絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。
	⑤ 保育士等とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。
	⑥ 保育士等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。
	⑦ 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもって、聞いたり、話したりする。

ねらい	内容
① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	① 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	② したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。	③ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
	④ 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
	⑤ 生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
	⑥ 親しみをもって日常の挨拶をする。
	⑦ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。
	⑧ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
	⑨ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。
	⑩ 日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。

ねらい	内容
① 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。	① 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。
② 感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとする。	② 音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。
③ 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	③ 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。
	④ 歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。
	⑤ 保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。
	⑥ 生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。

ねらい	内容
① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。	① 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。
② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	② 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	③ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
	④ 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。
	⑤ いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。
	⑥ 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。
	⑦ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。
	⑧ 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。